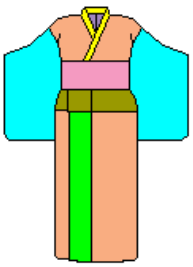
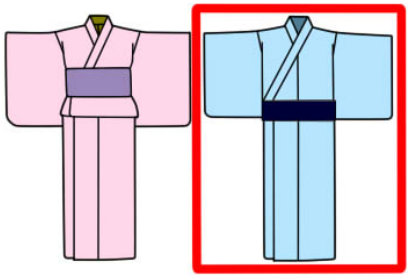


各部名称

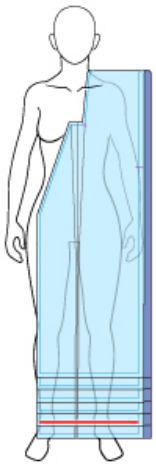
前身ごろ　後身ごろ　おくみ

えり　そで　おび　おはしょり

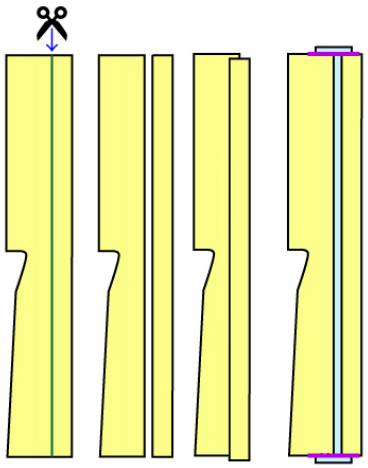


当方は洋裁工房ですので、本物の和裁を学びたい方は和裁専門のサイトへ行かれる事をお勧めします。
あくまで洋裁方式で作る浴衣です。
男装用の着物にはおはしょりはありません。
※この作り方はコスプレや演劇のための衣装を短時間で安く作りたいという人のために洋裁の技術で似たようなシルエットが作れるようにしたものです。

指定がなければ縫い代は１ｃｍです

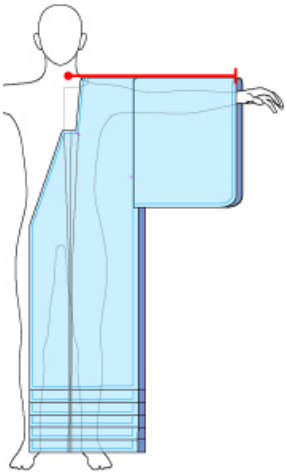


着物のサイズってどれを選べばいいの？
型紙の中心を肩に当てて、自分の作りたい丈のところを選んでください。

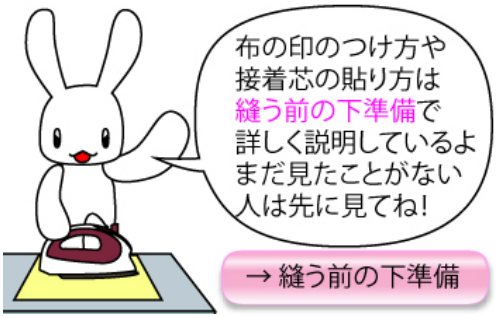


基本は型紙でサイズを調整するというより着付け（着物の着方）で調整します
ヒップ95ｃｍ位までなら胴体の改造は不要です。

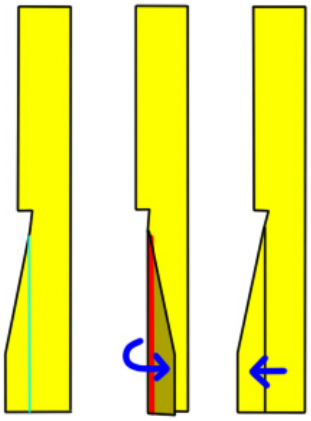
95ｃｍ以上の場合
（作りたいヒップ-95ｃｍ）÷4＝A（が間に足す紙の幅）です
緑線で切って
切った間にA幅分の紙を足してください

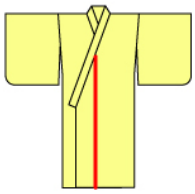


袖は首の後の骨から手首までの長さに近いものを選んでください。
型紙をテープで貼り付けて体に当ててみるといいと思います
3～4cmの長さの差は誤差の範囲だそうです。

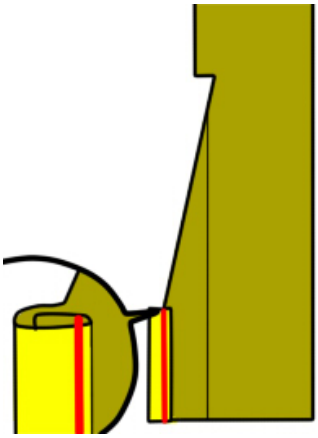


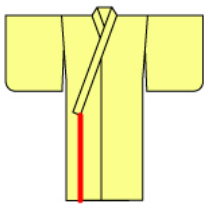
■表　■裏
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。
型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。
お洋服に模様や刺繍を入れたい場合はこの時点で入れておくと楽です。



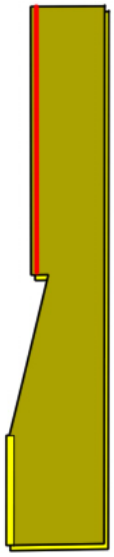
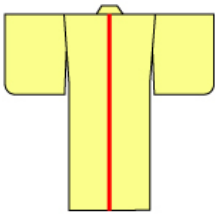
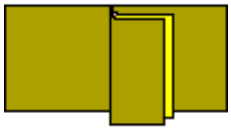
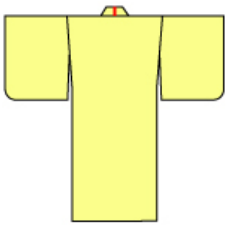
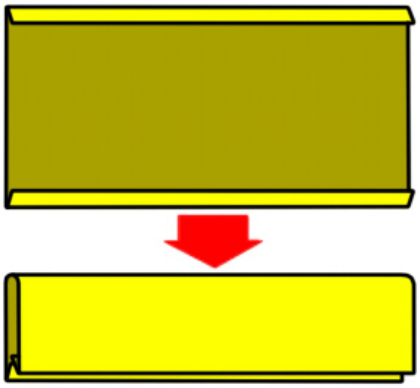
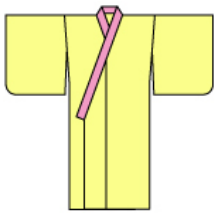
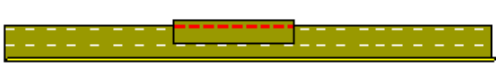


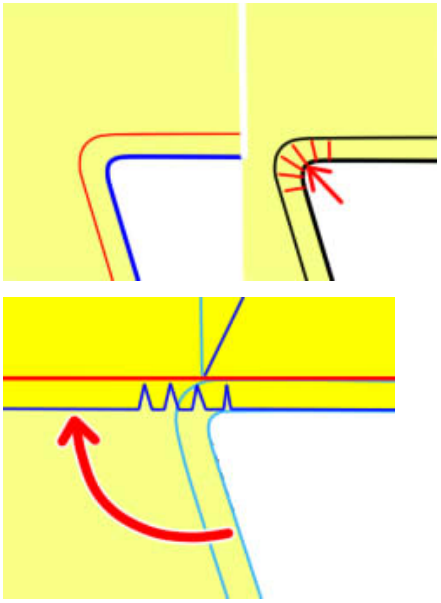
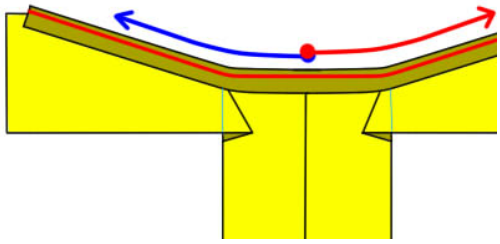
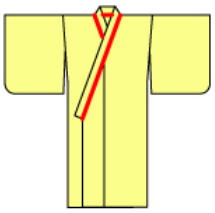
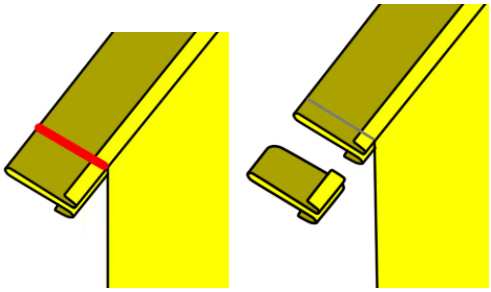
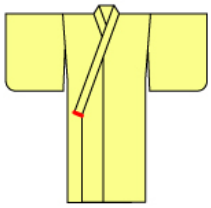
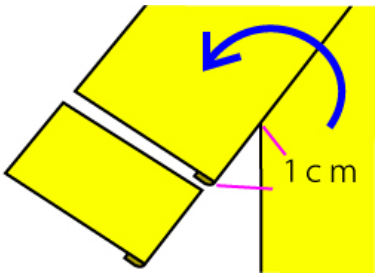
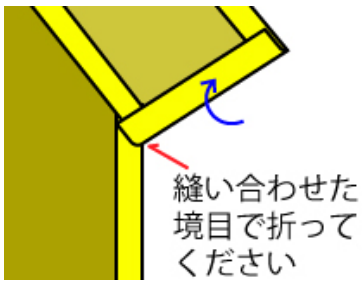
前身頃（胴体部分）を表側が見えるように置き、折り目の印を参考に裏側が見えるように折ってください。
型紙の青の線のところを縫ってください。

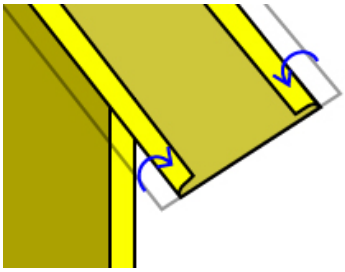




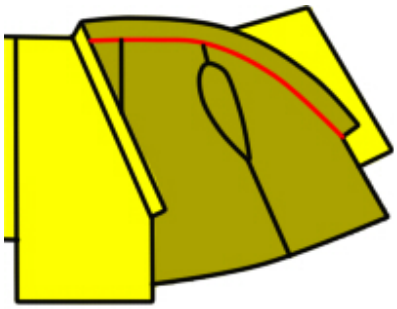
えり付けの下の部分を三つ折りして縫ってください。
三つ折が難しい場合は2つ折りでもいいです。

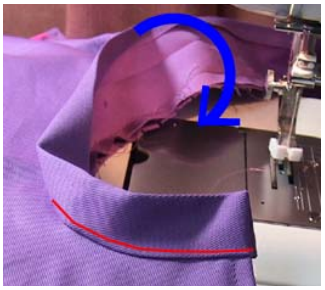
	 身頃（胴体）を表側同士が内側になるように重ねてください。 後の中心を1cm幅で縫ってください。 アイロンで背中心の縫い代を両方とも表から見て左に折ってください。  一方方向に縫い代を折ることを、おさいほうの用語で倒すといいます。
えり	
	 えりを表側同士が内側になるように重ねて1cm幅で縫ってください。 １ｃｍ幅で縫ってください。
	 えりをアイロンで折ってください。 両端の縫い代を裏へ1㎝折り、さらにそれを真半分に折ってください。
	えり芯を半分に折ってください。 えりの内側に入れる補強の芯のこと。 シーチングやさらし等無地の物。表に色、柄が透けなければ、ゆかたの端切れでもよいです。 それを横30ｃｍ縦10.5ｃｍの長方形に切って使ってください。
	えりの裏にえり芯を重ねてください。 えりとえり芯の中心を合わせて端から5mmのところを

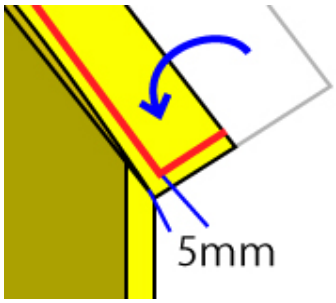
	縫ってください。
	えりの肩のカーブの縫い代に７～８mm程度の切り込みを入れてください。 切り込みを入れないとカーブがきついので、しわが入りやすいので、忘れずに。
	 表同士が内側になるように身頃（胴体部分）にえりを重ねてください。 襟（えり）の中心と、身頃の背中心を合わせてから左右を1ｃｍ幅で縫っていくと綺麗につけやすいです。
	 襟の先を縫ってください。 襟の中心の折り山を裏向きに折り返す。 余分を切り落としてください。
	上記が難しい場合は  えりを縫いつけたあと、縫い代1ｃｍ残して先を切ってください。

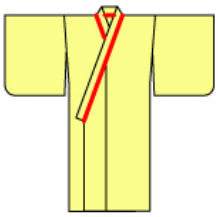


えりの両端の縫い代を裏側へ折ってください。
えりの先の縫い代を裏へ折ってください
端から5mmのところを縫ってください

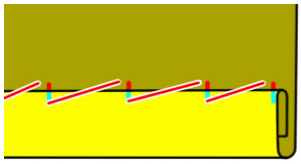






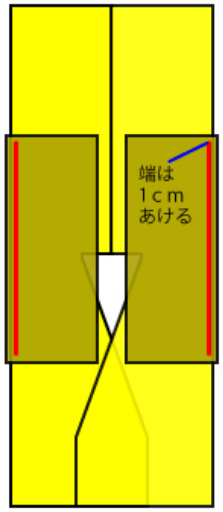


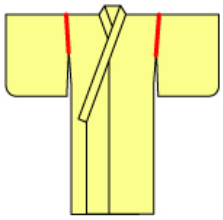
アイロンでつけた折り目で半分に折って衿の裏の赤い部分を手縫い（まつりぬい）で表側に目立たないように縫ってください。
でもこだわらなければ表側からミシンで縫ってもいいです。



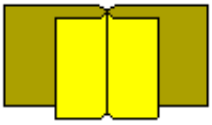
まつりぬい

そで

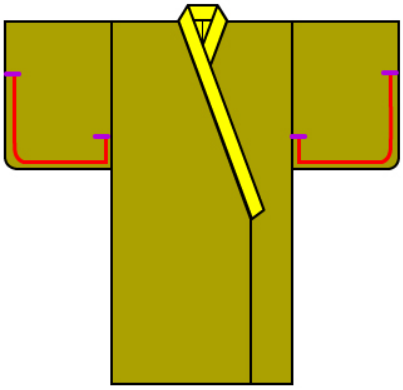
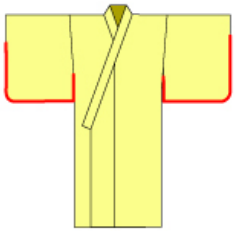
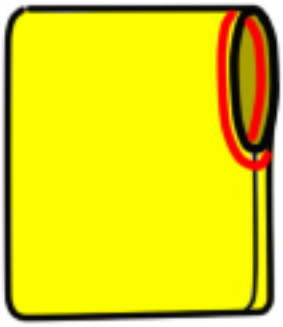
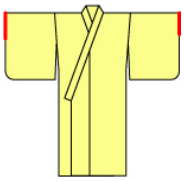
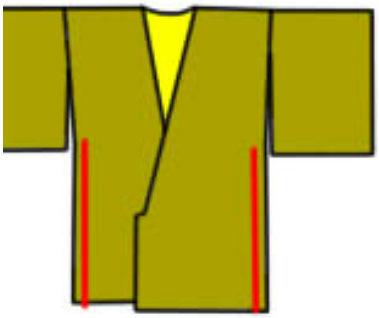
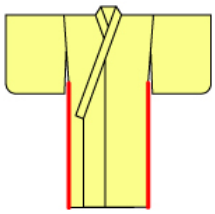
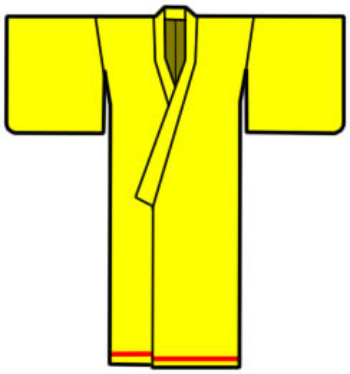
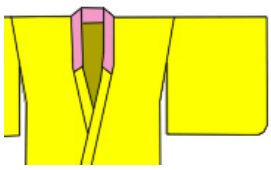


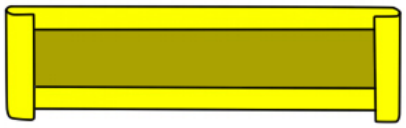
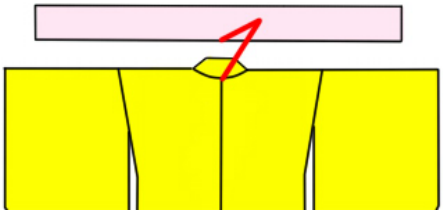
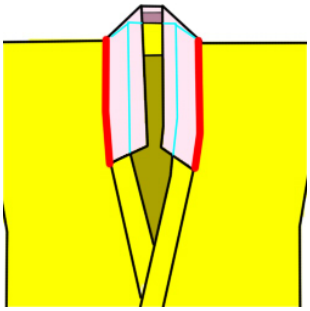
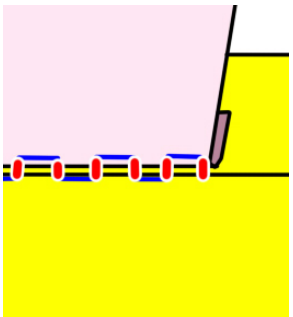
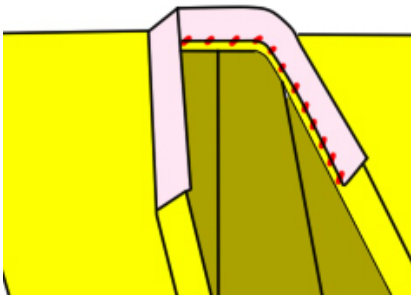
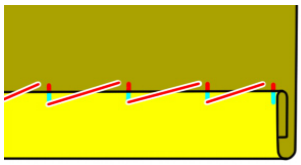


身頃（胴体）と袖（そで）を表側同士が内側になるように重ね縫ってください。
肩と、そで山を合わせて、両端1ｃｍ（縫い代分）開けて縫っててください。
縫い代は左右に折ってください。



おさいほうの用語で割るといいます。

	 袖口の印から、身頃（胴体）と縫い付けた縫い目ギリギリまで1cmの幅で縫ってください。 縫い代は後（背中側）へアイロンで折ってください。
	 そでくちの縫い代を内側へ三つ折りか、二つ折りして5mm位の所を縫ってください。 先にアイロンで折り目を付けて縫うと楽ですよ。
	 脇を1cmの幅で縫ってください。 そでを縫っているところの縫い目ギリギリまで縫ってください。
	すそを2ｃｍ裏に折って1.5ｃｍの所を縫ってください。
	 お好みで共えり（えりカバー）を付けてください。 上下左右の縫い代をアイロンで折ってください。

	コスプレ用などで元のデザインが省略されている場合は飛ばしてください。
 	かぶせえりの中心とえりの後ろ中心を合わせてピンを刺してください。 手縫い（本ぐけ）でえりにかぶせえりを縫ってください。 ↓このようにかぶせえりとえりの端を交互に0.5～1cm間隔で縫ってください。  手縫いで縫っておくとえりが汚れても、この共えりだけを取り替えればいいのですよ～
	かぶせえりをえりにそって折り、まつり縫いをしてください。  まつりぬい

★必要な材料

□　表生地　生地の幅によって大きく変わるので1/10サイズの型紙で試作してください
□　裏地　40ｃｍ
□　生地にあった色の糸

★このデザインに使いやすい生地

無地で作る場合
・ポリエステルアムンゼン
梨地織りという織り方で作られたちりめんのように細かいシワのように見える生地
薄くて軽くてしわになりにくい

・ポリエステルツイル
張りのあるものだとパリッとしてシワになりにくい

・和柄洋服生地
通常の洋服生地と同じ幅があるので反物に比べ少ない長さで浴衣を作ることが出来ます。
（着物の反物は38～42cm位らしいので）
華やかな柄から、シックながらまで色々ありますよ。
洋裁生地は柔らかいので着物らしい風合いが出なかったりするので洗濯用ノリでのり付けして作ってください。

・ポリエステルのちりめん
ポリエステルだとしわになりにくく、家庭用の洗濯機で簡単に洗濯ができるのでお手入れが容易です。